

染織家 日下田正先生 による特別授業

7月9日(月)と9月18日(火)の二日間、宇都宮短期大学附属高等学校アートルームにおいて、生活教養科2年「ファッション専門分野生徒(40名)」が、益子在住の染織家 日下田正先生(栃木県無形文化財指定)による特別授業を受講しました。

7月9日は、今年5月本校菜園に定植した藍の生葉を摘み取り、ジューサーで青汁にした染液を用いて、“シルクのハンカチーフ”と“ウールの原毛”を染色しました。9月18日には、本校菜園に播種した棉の木の綿摘みと、紡毛機を使用して7月に染色した原毛を紡いで糸にするスピニングを行いました。今回の授業を通じて生徒たちは、化学染料に頼らず、天然素材を用いた手作り(手仕事)による草木染めの技法を科学的に学ぶことができました。また、手作りの温もりを感じる「手仕事(ものづくり)」に触れることができ、とても貴重な体験をすることができました。11月には、益子の日下田紺屋に出向いて、絞り染めハンカチーフの藍染めをさせていただく予定です。

【7/9(月) 実施】



藍の生葉摘み



青汁作り



藍染めのハンカチーフ完成

【9/18(火) 実施】



綿摘み



原毛をカーディング



日下田先生の匠の技
“スピニング(糸紡ぎ)”